

基調報告 (概要)



Te Korowai
Whetū
Social Cohesion

Social Cohesion Guide

Social cohesion (社会的結束) に関する基調報告 (概要)

Social cohesion (社会的結束) に関する基調報告 (概要) は、現時点で入手可能な情報を基にAotearoaニュージーランドにおける社会的結束の現況を説明するものであり、今後の成果を測定するための出発点になります。

Aotearoaニュージーランドにおいて、Social cohesion (社会的結束) のある社会では、人々が連帯感と帰属意識を持って社会に参画し、お互いの存在を認め尊重し合い、政府諸機関をはじめとする組織の一員として公平に取り扱われ、信頼関係が構築されています。

Social cohesion (社会的結束) の実現には、居住・労働・娯楽・教育に適し、すべての人を受け入れ支援する安全な環境づくりと、公平な制度や公共サービスを確立し、異なるニーズや問題に対応する必要があります。

AotearoaニュージーランドでSocial cohesion (社会的結束) を向上する取り組みを測定する方法は1つだけではありません。複数の情報源やデータを活用し、その現況を明確に理解する必要があります。そのため、最新のデータ・ソースに加え、2016年から2021年に収集されたデータ・ソースと調査結果を使用しました。全体として、Social cohesion (社会的結束) を肯定する情報がある一方で、より複雑な問題を正しく反映していないものもありました。たとえば、収集された情報は、社会的な少数集団のSocial cohesion (社会的結束) について理解するには不適切です。

これらの情報によれば、Aotearoaニュージーランド国内在住者の多くが帰属意識や信頼関係、社会参画、健全性を高く評価していますが、それは国民全員に共通する認識ではありません。たとえば、Māori人に関するデータからは、家族や固有の文化への帰属意識の高さが確認されましたが、政府への信頼や教育・労働・投票への参画は低いままです。

さらに、これらの情報からは、差別がAotearoaニュージーランド国内のSocial cohesion (社会的結束) を阻む重大な障害であることも明らかになりました。再定住者(難民)やアジア・ポリネシア系の移民、ひとり親、無職者などの集団に対しても根強い差別があります。出席者の多くは、同時に複数の差別を受ける極めて深刻な体験を

していました。たとえば、女性やLGBTQIA+コミュニティが差別を受ける確率は一様に高いですが、民族や身体障害に基づく集団では人によって差別体験が異なります。

最後に、これらの情報からは、Aotearoaニュージーランドの人口構成を反映し、政府や公共サービスの指導者層に多様な民族背景を持つ人材をさらに多く起用すべきであることがわかります。

近年の新型コロナウイルス感染症の蔓延は、Aotearoaニュージーランド国内の Social cohesion (社会的結束) に良くも悪くも多大な影響を与えました。たとえば、コミュニティ内での相互支援は促進されましたが、家族や友人と直接会うことができない人や心身に不調をきたす人も多く見られました。その影響は今もまだ続いています。

